

いのちと地域を守る 毎月11日掲載

防災・減災のページ

緊急津波情報システム 実用化へ

考える

キンピール仙台工場で運用訓練

避難メールで誘導



屋上で、携帯電話やスマートフォンを操作し、避難完了を報告する従業員たち

仙台宮野野区にあるキンピール仙台工場で11日、従業員を対象に緊急津波避難訓練システムを使った避難訓練が行われた。システムは津波の発生を感知すると、避難経路を案内するメールを送信し、避難誘導が行われる。システムは津波の発生を感知すると、避難経路を案内するメールを送信し、避難誘導が行われる。

震災を教訓 個人へ発信

「緊急津波避難システム」の開発者である、東北大学大学院工学部情報学専攻の山内 浩一氏は、震災を教訓として、個人へ発信している。山内氏は、震災を教訓として、個人へ発信している。山内氏は、震災を教訓として、個人へ発信している。

●避難情報配信のイメージ

地震情報の受信

発出人: tsunamis_info@qa7net

○地震情報

地震 (M=6.5) が発生しました。津波発生の恐れがある地震です。今後の津波情報に注意してください。

津波情報の受信

発出人: tsunamis_info@qa7net

○津波情報

津波警報、津波高さ3m、避難場所は、〇〇事務所屋上、〇〇市〇〇区

<http://maps.com>

※地図サイトのURL

避難状況の確認

発出人: tsunamis_info@qa7net

○避難状況確認

避難場所に到着したら下記をクリックしてください。

<http://demo/hinan>

避難状況の連絡

発出人: tsunamis_info@qa7net

○避難状況連絡

〇〇さんは、2015年2月11日12:20に避難できました。

地震情報が配信される
津波情報とともに適切な避難場所が表示される
避難場所に到着したら避難完了の返信をクリック
管理者、家族に避難・安全状況が配信される

津波回避へビル滞在指示(宮城・南三陸町)



猪又 隆弘さん

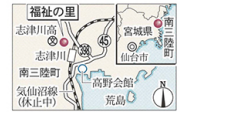
宮城県復興推進協議会事務局の猪又さん(56)は、町の復興推進協議会「津波避難ビル」の運用について、津波発生時にビルに滞在するよう指示する方針を示している。

屋上の人影見て無事知る



大宮津波被害を受けた福祉センター(11年11月撮影) (宮城)津波被害を受けた福祉センター(11年11月撮影)

「福祉の里」に向かい、多くの被災者、ボランティアが訪れた。津波発生時にビルに滞在するよう指示する方針を示している。



「福祉の里」の位置

貞観地震3・11後、広く認知 堆積物の研究に着手

東北歴史博物館上席主任研究員 柳沢 和明さん

「堆積物の研究に着手」は、東北歴史博物館上席主任研究員 柳沢 和明さんのインタビュー記事。彼は、貞観地震と3.11地震の比較研究について話している。



柳沢 和明さん

「堆積物の研究に着手」は、東北歴史博物館上席主任研究員 柳沢 和明さんのインタビュー記事。彼は、貞観地震と3.11地震の比較研究について話している。

「現場から」は、被災地からの声や情報に関する記事。被災者の生活状況や復興の進捗について報告している。

自分の身守る意識持つ 多賀城市交通防犯課

多賀城市交通防犯課 田中 剛さん(58) 陸上自衛隊を定年退職した後の2011年10月末から、防災士の資格を生かして地元の多賀城市で地域防災計画の策定などに携わっています。



田中 剛さん

被災者の状況 常に把握 福島県飯館村

福島県飯館村 副町長 田中 由喜さん(27) 群馬県高崎市から飯館村に転居し、昨年4月から働いています。仮設住宅の班長と毎日連絡を取り、住民に真実がないかを確認しています。



田中 由喜さん

仮設住民の状況 常に把握

福島県飯館村 副町長 田中 由喜さん(27) 群馬県高崎市から飯館村に転居し、昨年4月から働いています。仮設住宅の班長と毎日連絡を取り、住民に真実がないかを確認しています。